



# 新刊案内



『受取人、不在につき』 赤川 次郎/著 汐文社 T/アシ
『トリガー』 いとう みく/著 ポプラ社 T/イミ
『火持りの王』【1】 日向 理恵子/著 ほるぷ出版 T/ヒリ
『賢者の弟子を名乗る賢者』【10】 りゅうせん ひろつぐ/著 マイクロマガジン社 T/リヒ
『歴史を知る楽しみ』 家近 良樹/著 筑摩書房 T210/イヨ
『憲法カフェで語ろう9条・自衛隊・加憲』 あすかわ/編著 かもがわ出版 T323/ケン
『数学と恋に落ちて』【方程式を極める篇】 ダニカ マッケラー/著 岩波書店 T410/マタ
『数学と恋に落ちて』【未知数に親しむ篇】 ダニカ マッケラー/著 岩波書店 T410/マタ
『めんそーれ！科学』 盛口 満/著 岩波書店 T430/モミ
『受かる小論文の絶対ルール』 樋口 裕一/著 青春出版社 T816/ヒユ
『ソードアートオンライン』【21】 川原 礫/著 KADOKAWA TB/カレ
『アラルエン戦記』【12】 ジョン フラナガン/著 岩崎書店 TF/フシ



ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 182号

平成31年 2月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



寒い日が続き、風邪やインフルエンザも流行中！  
みなさんは元気に過ごしていますか？  
今月のテーマは【もふもふ】です。みなさんは  
【もふもふ】と聞いてどのようなものを  
思い浮かべますか？【もふもふ】という擬音語から  
司書が想像を膨らませいくつか本を集めました。  
まだまだ寒い日が続きます。外に出たくない日は  
ぽかぽかの部屋で本を読みませんか？



## ●『先生とのお布団』

石川 博品／著 小学館 TB／イヒ

売れないライトノベル作家と、人の言葉を話す猫の日常譚。

せっかく書いた小説は没になる、売れる見込みが無く続刊は打ち切り、新アイデアは流行に合わず受け入れられない。それでも作家・石川布団は猫に励まされながら小説を書き続けます。猫との絆はもちろん、作家の苦悩と喜び、書くことへの真摯な想いが伝わってくる作品です。またペットと話せたなら、彼らのように互いを尊ぶ素敵な関係になれるのかもしれませんが。(S. K)

## ●『動物の赤ちゃん大図鑑 世界一カワイイ!』

小宮 輝之／監修 日東書院本社 R480／トウ

動物の赤ちゃんってどうしてこんなにかわいいのでしょうか! 野生動物からペットまで、たくさんのかわいい動物の赤ちゃんの写真とともに、生態も紹介されています。私が選ぶもふもふ赤ちゃんベスト3は、3位・ヒツジ、2位・ヒヨコ、そして1位は・・・ホッキョクグマの赤ちゃんでした。あなたもお気に入りの動物の赤ちゃんを見つけてくださいね。(S. M)

## ●『羊に名前をつけてしまった少年』

樋口 かおり／著 ブロンズ新社 T／ヒカ

北海道の農業高校に通うエイジは畜産実習で羊の出産に立ち会う。耳にNo. 8と刻印された仔羊の世話をするうちに愛着が沸き、いつかは出荷されてしまうと分かっているながらもたくさんの愛情を注ぎ、ついには羊に名前をつけてしまう。

No. 8との悲しい別れの中で、家畜とペットは違うということを実感し、自らが育てた「命」を絶つ辛さを経験する。エイジは「命」の始まりから終わりに向き合い強くなっていく。私たちはたくさんの「命」を頂いていることを改めて認識させてくれる一冊です。(W. U)

## ●『ハム語辞典 しぐさや行動からハムスターのキモチがわかる!』

今泉 忠明／監修 学研プラス 645／ハム

ペットとしても人気のハムスターのお世話の仕方が、かわいい写真とともに紹介されています。ページごとに、ハムスターによくみられる行動とその解説が、イラストや写真とともに掲載されているので、初めてハムスターを飼う方にもわかりやすいです。写真集としても魅力たっぷりです。ハムスターの表情、しぐさなどの「ハム語」を読み取って、もっとハムスターと仲良くなりましょう。(S. M)

## ●『ブックマ。』

Kumacolon／編著 HKINTERNATIONALVIAIONT T019／フツ

くまを愛する女性たちが選んだ、古今東西のくまの絵本が60点以上も収録されています。表紙と裏表紙、簡単な出版情報とコメントを全てカラーで掲載した、とてもかわいらしい「くまぼん」です。いないいないばあ、いやいやえん、頭のうちどころが悪かった熊の話、かつてなくま、くまの子ウーフ……、誰もが知るくまのプーさんやリラックマの本もあります。皆さんの知っている本はいくつあるでしょうか?(S. K)

## ●『動物園でもふもふお世話中!』

きっか／著 KADOKAWA T480／キツ

東京の井の頭自然文化園が舞台になったコミックエッセイです。

飼育員の仕事の内容だけでなく、動物を育てていく苦労や努力が細かく書いてあります。カピパラやアライグマなど、メディアでの可愛いイメージが先行して、想像していたのと違う…と動物本来の姿を見ようとしない人へ、どのように動物の魅力を伝えるか…など飼育員も悩み、日々奮闘! 「動物園の生き物は人間の都合でここにいてもらっている」という言葉は印象的で、命の大切さを考えさせられます。コミックなので読みやすく、もふもふした動物もたくさん出てきますよ。(W. U)